

学校教育目標	「学びを通して 共生 共感 創造 を育みます」 ○お互いを思いやり、認め合い、社会に貢献しながら共生できる生徒を育みます。(公・開) ○自分らしさを豊かに発揮し、心身の健康を考え安全・安心な生活を送ることのできる生徒を育みます。(徳・体) ○興味関心を広げ、自ら創造・工夫し課題に取り組み、夢をもち未来をたくましく切り拓いていく生徒を育みます。(知・徳)			
	学校概要	創立 11 周年 児童生徒数: 406 人	学校長 米盛 司 主な関係校: 本町小 南吉田小 みなとみらい本町小 東小	副校長 土屋 隆史 3 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	横浜吉田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<グローバル化の中で生きる力> <自分づくりに関する力> <確かな学力>	横浜吉田中学校 本町小学校 南吉田小学校 みなとみらい本町小学校	持続可能な未来の社会を創る担い手として ◎まちを愛し、役立つ意識を高め、関わり・つながりを大切に子ども ◎多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども ◎自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども ◎学びの基礎・基本を身につけ、心身ともにたくましく生きる子ども ◎身につけた知識・技能のもと主体的、協働的に課題解決に向かう子ども ・小中学校の各々の授業研究会に参加し、学習について学びの共有と授業方向上 ・児童生徒に関する継続的な情報共有と指導についての共通理解 ・小中合同あいさつ運動の実施等、児童生徒交流の場の設定 ・国際教室、個別支援級、小中連絡会について各校種間の相互理解とその促進 ・ブロック内で育成を目指す資質・能力の9年間で育てる学びのつながりについて継続的な協議の実施

中期取組目標	魅力ある「私の学校・私のまちおらが学校」となる横浜吉田中学校を目指します。 ○新学習指導要領に基づいた教育課程を実践し、PDCAの観点で改善をすすめます。 ○全教育課程で絆づくり、居場所づくりを観点とし、自己有用感の向上につなげ個々に応じた組織的な生徒指導を進めます。 ○本校の教育環境を生かしたグローバル人材育成の教育をすすめます。 ○校内環境整備を大切に、落ち着いた環境づくりをすすめます。 ○まちや社会等、人とのつながりから自他を大切にす気持ちや思いやりそしてまちを大切にす気持ちの育成をすすめます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学習指導部	①めあてを明確にした授業展開や板書提示等により学びの意識化を進める。②発問等の工夫を心がけ主体的に考え、対話し学びを深めさせて、学びの主体性を高めていく。③授業週間と授業研究会の実施や小中授業交流再構築による授業改善の推進。④公開授業を設定し外部への積極的な情報公開と評価の推進授業改善を進める。
徳 豊かな心 担当 道徳係・徳育人権国際理解	①道徳のねらいに基づき教材を工夫した授業づくりを進め、校内参観等、情報共有と授業改善を図る。②校歌斉唱により自校愛を育み、あいさつ、行事での学年間の縦・横による取組等、様々な活動実践により相互理解を高め、豊かな心を育む。③国際平和スピーチコンテスト、人権作文、横浜子ども会議の取組推進とその積極的広報の実施する。
体 健やかな体 担当 保健安全指導部・家庭科	①食育実践校として適切な食の選択力育成に向け小中連携にて教科指導を通じた食育の推進を図る。②学校保健委員会に向けた調査、実践、発表や給食実践校としての取組等を柱に食を通じた心身の健康課題に向き合う場面としその実施を進める。
公開 グローバル人材の育成 担当 学習指導部・国際教室・英語科	①多文化共生について校内プログラムの充実と定着、外部連携による再構築を進める。②公用語として英語を位置づけその実践として英語のラウンド制を進め、区内合同の情報連携、研究及び外部支援より再構築を図る。③学校行事全般のねらいに位置づけ実施する。
いじめへの対応 担当 校内委員会・生徒指導部	①教育相談の工夫と充実、アンケート実施等に生徒への寄り添いを深め、早期発見・早期対応を図る。②校内委員会にて情報共有とケースカンファレンス的な協議により対策・予防等、研修を兼ねた取組を進める。③横浜子ども会議の積極的な広報を行う。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 企画会・総務部・メンターチーム	①発表時間の制約や関係者への事前資料の配付等を進め、相当数の会議時間の縮小を図り、他業務との働き方の調整に努める。②日常の学年内における情報交換や課題協議、学年会等のOJTの実施、計画的な全体研修の設定を積極的に行い、改めてこれまでの教育活動や現教育課題への共通理解と対応を深める。
特別支援教育 担当 特別支援教育推進委員会	①特別委員会の主導による運営に基づき全教職員体制を敷いた特別支援教室の活用を進める。②研修実施等、ユニバーサルデザイン等の特別支援教育の認識を深め、日常的な教育活動での実践を進める。
生徒指導 担当 生徒指導部	①教育相談の方法や内容の工夫を図り、より確かに生徒一人ひとりに寄り添う環境を整える。②より確かな人権意識と人権感覚の向上に向け、職員研修を積極的に実施する。③生徒の実態を受け全教育課程にて自己有用感、自尊感情の向上を高めるよう取組を計画し実践する。
教室環境整備 担当 保健安全指導部・特活指導部	①落ち着いたある教育環境づくりに向け、環境美化・整備の観点を教職員・生徒が互いに認識を深め、日常的な取組の実践を進める。②全教職員で目的を共有した非常災害訓練の実践や安全研修を進め、確かな知識の定着とより実践的な取組の経験を生徒へ還元させ、対応力を身につけさせる。
地域連携 担当 交流委員会・各学校行事担当	①交流委員会で生徒・地域交流を再実践を図ったり、地区・学校行事への参画をはたらかけを通じ、関係づくりを深める。②地域コーディネーターを中心とした地域学校協働本部の具体的な取組の計画と確立、学校運営協議会との連携を深める。